3.01　かさ密度及びタップ密度測定法

1. かさ密度　1.2. 第2法（ボリュメーターを用いる方法)の 1.2.1. 装置を次のように改める.

1.2.1.　装置

装置(図3.01－1)は目開き1.0 mmのふるいを取り付けた上部漏斗から構成される．この漏斗は，粉体が通過するときに，その上を滑落したり跳ね上がったりする4枚のガラス製邪魔板が取り付けられたバッフル・ボックスの上部に固定されている．バッフル・ボックスの底部には，ボックスの直下に置かれた，粉体を集めてカップに注入できるような漏斗がある．このカップは円筒形(容積25.00±0.05 mL，内径30.00±2.00 mm)又は立方体(容積16.39±0.20 mL，一辺の長さ25.400±0.076 mm)である．

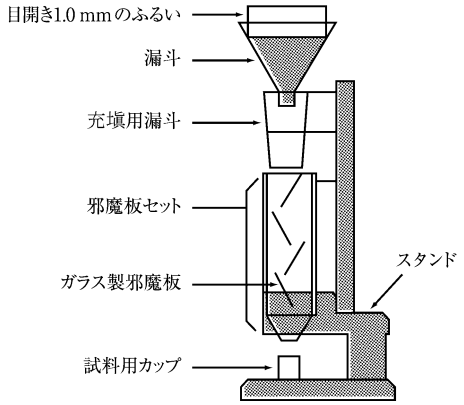

図3.01－1　ボリュメーター

脚注 1)を削除する.